



# 学校だより

開く つなげる ともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

令和2年7月29日  
横浜市立豊田小学校  
8月号

## 「心のブーメラン」 ～給食時間での出来事～

学 校 長

今日は、カレー。

やったあ。おかわりの人が続出だ。次々と手があがる。

そうしたら、今度は、飲み物の発酵乳が、余っていたんだ。

先生が、「欲しい人？じゃ、その人は、廊下で声を出さないでジャンケンね。」って、言ったんだ。

廊下に出てみると6人。ジャンケンをして、4人に絞られた。

その時だ。

1人の男の子が、「僕も」って、突然、やってきたんだ。

“遅れてきた少年”って、いうわけだ。

他の子は、一瞬、「どうしたらいいの」って、顔をした。

僕の口からは、とっさに、次の言葉が出たんだ。

「いいじゃないの。別に、負けたわけじゃないから。」

そうしたら、みんな、“そうね”っていう顔で、ジャンケンを続けた。

でも、その男の子は、ジャンケンに負けた。

でも、どこか、笑顔で、いっばいだったんだよ。



その時、廊下で僕達の様子を、じっとそばで見ていた校長先生が、その子に言った。

「負けて満足！負けても、満足だよね。」

「負けて満足、負けても、満足か」、何か心に残るいい響きだった。

僕はジャンケンに勝った。もう1個、僕の机の上に発酵乳が並んだ。

そして、校長先生が、僕に近寄ってきて、静かに言った。

「『心のブーメラン』って知ってる？」(えっ、心のブーメラン?)

「さっき、友達のピンチを君の“思いやりの心”で救ったよね。

だから、その優しさが、倍になって、ほら、君の手に(発酵乳を指さして)もどってきたんだよ。」

逆に人を傷つけたり、悲しませるようなことをしたら、何倍ものつらいこととなって、必ず、自分自身にもどってくる。それが、心のブーメランさ。」

“心のブーメラン”。

僕は、2つの発酵乳を見つめながら、

確かにあるように思った。

いつも子どもたちと一緒に

横浜市立豊田小学校

～どうか 有意義な夏休みで ありますように～